

# ～図書館だより～

R6年12月号

柳川春樹先生のお薦め本

『暗号解読（上・下）』サイモン・シン

「くにあなむきあひぬとうみせのなゆにぎをぬうお」。

突然ですが、この暗号を読み解くことができるでしょうか。

先着 10 名（生徒に限る）にお菓子を贈呈します。

暗号とは、届いてほしい人にだけ情報が伝わるように、メッセージの見た目を変える技術のことです。例えば SNS のプライベートなやり取りは、たとえ悪意を持った人が電波通信を盗み見ても内容が分からないように、SNS の運営会社が暗号化をしています。私たちが SNS を使うというのは、この会社の暗号の強さを信用しているということになるわけです。

暗号の進化史の中でも、選りすぐりのエピソードを紹介してくれるのがこの本、「暗号解読」です。秘密を隠しておきたい、あばきたいという人間の欲求が、科学技術（特に数学！）と結びついたとき、ある数学者の人生が決まり、ある国は敗戦し、次の時代が幕を開けます。暗号が作られ、破られていくときの知的興奮をぜひこの本で感じてみてください。人類が積み上げてきた「秘密の技術」をのぞき見る楽しさで、次々とページをめくってしまいます。最初の暗号のヒントは「1 文字ずらし」です。挑戦を待っています！



# 牟婁地域ビブリオバトル大会（11月20日 日本本高校）

## 優勝！2年1組 長田 太希さん！（写真中央）



長田さんは流れるような語りで『ウルトラマンになった男』（古谷敏作）を紹介しました。子どもたちに大人気だった『ウルトラマン』第1シリーズでのウルトラマン役古谷敏さんの自伝です。「『ウルトラマン』最終回の夜、全国の子どもたちはあることをした」と話しましたが、「あること」が何かは言いません。聞き手に「あの本を読みたい」と思わせる紹介でした。12月27日の「高校生ビブリオバトル三重県大会 2024」に出場予定です。健闘をお祈りします！

### 新刊おすすめ本 『間借り鮫まさよ』 『同居鮫 間借り鮫まさよⅡ』 原宏一作

丸顔のおばさん雅代は実は1流の鮫職人（特急に2時間乗って雅代の鮫を食べにくるファンがいるほど）。他店に間借りして鮫を握る雅代は、さまざまな悩みをかかえた人々によりそい、力づけます。雅代が間借りをやめ立ち去る頃には、いつのまにか皆が幸せになっています。鮫が好きな人にも、心あたたまる話が好きな人にもおすすめ！